

がんばって、社会で輝く人になりたい！

チハイチバン[®]

KEIAI UNIVERSITY CHIBA ICHIBAN PROJECT

We Have Confidence and Pride as KEIAI Students!

敬愛大学生の自信と誇りを胸に！



未来へ 君へ

チバイチパンで、就活突破！

就職活動の状況は厳しい

景気低迷が長引くいま、大卒者の就職はいぜんとして厳しい状況にあり、求人倍率（2011年3月卒）は、前年の1.62倍から1.28倍にまで落ちこむことが分かっています。また、従業員数1,000～4,999名の企業の求人倍率は0.63倍、5,000名以上の企業でも0.47倍と低迷を続けています。しかし、こんな厳しい中でも、みごと難関を突破して就職できる学生はいます。一方、早い段階から就活に取り組んでいるにもかかわらず、なかなか内定が取れない学生もいます。この違いはどこにあるのでしょうか。

企業が求める人材とは

それは「人間力の差」にあると、私たち敬愛大学は考えます。就職を前に、あわてて履歴書の書き方や面接のコツを学んでも遅すぎます。小手先のテクニックは就活には通用しません。企業が求めているのは、社会で活躍できる人材。一般常識があるか、挨拶や社会人としての会話ができるか、誤字脱字のない文章が書けるかといった基本はもちろんのこと、大切なのは、自分の意見をきちんと人に伝えられるか、チームの中で人と協調できるかといった、社会人としての能力です。つまり、就活では、ビジネスの現場で役立つ“人間力”が問われるのです。

自分の力に気づき、高める

敬愛大学では、1年次より「就職ゼミ」を導入。ビジネスに必要な資質能力を「チバイチパン」という言葉に集約し、4年間の学びを通して、社会で活躍できる“人間力”を育てていきます。「チバイチパン」は、誰もが持っている力です。その自分の力に気づき、引きだし、育てていくことが大切です。内定をもらうことが目的ではありません。自分自身のために、人間としての自己を磨き、人生を自力で切り開いていく力を高めていく。その結果、一人前の社会人としての素養が身につき、企業の入社試験に合格できるのです。



自分の力に、
気がつく力。



敬愛大学だから できること。



敬愛大学は、比較的規模の小さな大学です。その“小ささ”を大きな武器として、規模の大きな大学には真似できない、一人ひとりの顔を見ながらの手厚い就職指導を行っています。

まず、1年生のときに「キャリアプランニング」という授業があります。これは1グループ20名程度の少人数による演習方式で、勉強の仕方、趣味の持ち方、仕事に対する考え方、人生への考え方など、人間として前向きに生きていくための基礎を学びます。また、全学年を対象にした「就職ゼミ」もあります。1・2年生、3・4年生に分かれて、外部からさまざまな分野のプロフェッショナルを招き、実践形式のプログラムにより、就活に必要な「チバイチバン」を養います。さらに、大学として就職に有利な環境を築くために、さまざまな経済団体と連携し、就職に役立つインターンシップ制度を充実。管理職を講師としてお招きし、学生にリアルな学びを提供するなど、企業との双方向の連携を深めています。このように、1年生のときから始まるさまざまな学びを通して、3年生の終わりには、「チバイチバン」を獲得。“社会で活躍できる人間”へと成長していきます。

“チバイチバン”ってなに？

敬愛大学が考える社会で必要な「情報を収集し、分析し、構築するスキル」のことです。

チ

チームワーク

楽しめる力 責任力
規律性

バ

バイタリティー

行動力 挑戦する意欲
継続力 主体性

イ

イノベーション

問題発見能力
改革力 創造力

チ

知識・知恵

実学的知識 知識加工力

バ

バランス感覚

理解力 判断力
分析力

ン

気づき(notice)

自己管理能力
倫理観 柔軟性

敬愛大学では、小手先の就活術を教えるのではなく、本気で社会に通用する人間を育てようと、いつも一生懸命がんばっています。





就職に必要な環境をつくる。

学生の就職に有利な環境をつくるためには、企業や経済団体との関係を密にすることが大切です。そのため敬愛大学は、地元の「経営者協会」「商工会議所」「中小企業家同友会」に加盟し、企業との双方の結びつきを深めています。本学のキャリアセンターの企業人脈はすでに300社を超え、その中から企業のトップや現場で働いている方を講師としてお迎えし、学生に仕事の様子や苦労話などを教えていただいている。世の中にはどんな職業があり、実際にどんな仕事をしているのか。社会で活躍されている方々のリアルな体験談に、学生たちは目を輝かせ

て聞き入っています。また、元NHKアナウンサーや都市銀行の役員秘書など、各界のプロフェッショナルにも特別講師になっていただき、他ではなかなか聞けない現場の話を披露していただいている。聞くと見るとでは大違い。迫力に満ちた現場の話は、就職をめざす学生にとって大きな刺激になっています。今後も敬愛大学では、学生が企業の最前線で活躍される方々と接する機会を増やし、就活に必要となる「チバイチバン」力を高めていきます。大学・企業・学生の“三位一体”的な関係を地域に築き、学生の就職活動を積極的にサポートしていきます。

社会で活躍されている経営者の方のお話は、私たち学生にとって、とても貴重で、大きな刺激となっています。

経営者・大学・学生の三位一体の連携を地域に築き、就職活動に有利な環境を整えていきます。

地元高校

生徒の講座参加



就職ゼミ
特別講義

大学生

キャリアセンターと二人三脚の関係

キャリアセンター

講師・講演依頼

内定

インターンシップ

企業

毎年行われる敬愛大学就職フェアでは、100社以上の企業が参加して、直接採用担当者の立場からの本音を聞くことができます。



学校主催の就職フェアを開催したり、中堅・中小企業のオーナー経営者をお招きして、経験談や苦労話をお話していただき、学生と交流を持つ機会を作っています。

経営者協会
商工会議所
中小企業家同友会



2

就職に必要な実践を積む。



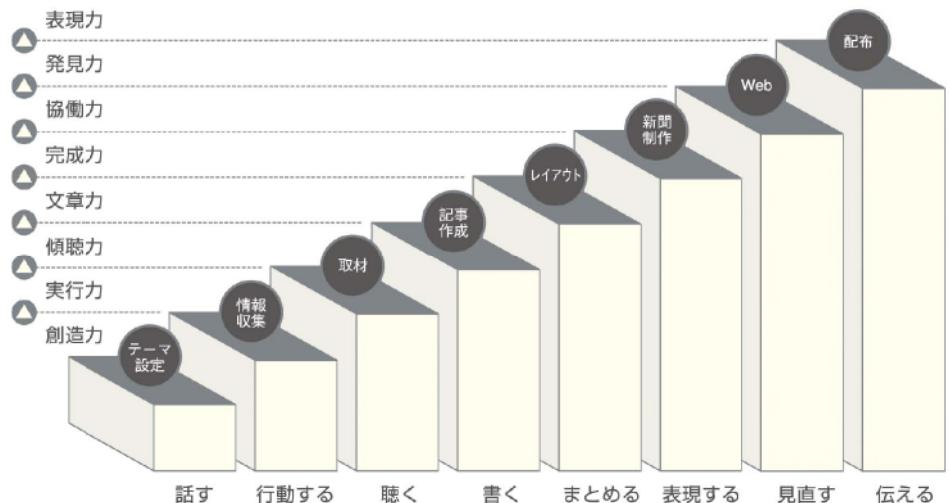
企画する、アポを取る、取材する、文章を書くなど、新聞制作の作業には社会人として必要とされるあらゆる能力資質が凝縮されています。本格的な新聞制作の作業を通じて、就活に必要な「チバイチパン」を高めています。

人間の底力ともいべき「チバイチパン」は、普通の授業だけでは身につきません。そこで敬愛大学では、新たに全学生を対象とした「就職ゼミ」を立ちあげました。1・2年生は本格的「学園新聞の制作」を通した実践形式の演習で、3年生はより就職活動の準備にフォーカスしたプログラムで、「チバイチパン」を高めていきます。ここで大切なのは、「内定をもらう」ための就活から、「自己実現」のための就活へ、物事の本質のとらえ方に気づくことです。小手先のテクニックだけで内定がもらえるほど、いまの世の中は甘くありません。「なぜ就職するんだろう?」「働くってどういうこと?」といった物事を自らが考え、気づくための人間教育を通して、自分の底力である「チバイチパン」を高めていく。その結果として“社会で活躍できる人間”へと成長していくのです。



電話のかけ方や名刺の渡し方、お礼状の文面の作り方やアポイントの取り方など、すべてが勉強になります。

1・2年生就職ゼミ 学園新聞制作



3年生就職ゼミ キャリア教育基礎講座

情報活用スキル	
1 大学生活の欄卸 (マイキャリアカード)	体験の資源化 価値観・判断基準確認
2 社会人・OBとディスカッション	社会人参加者の体験ワークシートを分析
3 情報活用スキル① ビジネスコミュニケーション スキル① (Simコンビニ経営)	情報収集(集める・引き出す・體て測る) 合意形成・意思決定
4 ワークシート収集	実社会との関係付け 具体的なイメージや選択肢を増やす
5 社会人・OBとディスカッション	社会人参加者の体験ワークシートを分析
6 情報活用スキル② ビジネスコミュニケーション スキル② (採用プロジェクトSim人事部)	情報解読(分解・統合) 合意形成・意思決定
7 自身の欄卸と活用シーン分析	自分提案 Preエントリーシート作成

情報活用スキル	
1 情報活用スキル③ ビジネスコミュニケーション スキル③ (Simイベントプロデューサー)	情報分析 (シーン分析・視点転換) プレゼン・質疑応答
2 社会人・OBとディスカッション	社会人参加者の体験ワークシートを分析
3 ケース別シミュレーション (マイキャリアカードシート)	具体的なワークシートをイメージ 必要なスキルを具体的に検討
4 情報活用スキル④ ビジネスコミュニケーション スキル④ (採用プロジェクトSim人事部)	構築瘤(ニーズとリソースを意識したストーリー) プレゼン・質疑応答
5 求人票から読み込む企業情報	同業種・同職種他社、 3社比較で分析 選考と事業モデルの関連を分析
6 社会人・OBとディスカッション	社会人参加者の体験ワークシートを分析
7 エントリーシートコンテンツ 洗い出し	社会・企業ニーズ、自分資源、 貢献方法を意識 ストーリー構築



自分情報や企業・業界情報を材料として、グループごとにシミュレーションなどのワークやディスカッション、プレゼン等を実施。ビジネスコミュニケーションの体験を通して、自ら「チバイチパン」を高める必要性に気づいていきます。

3

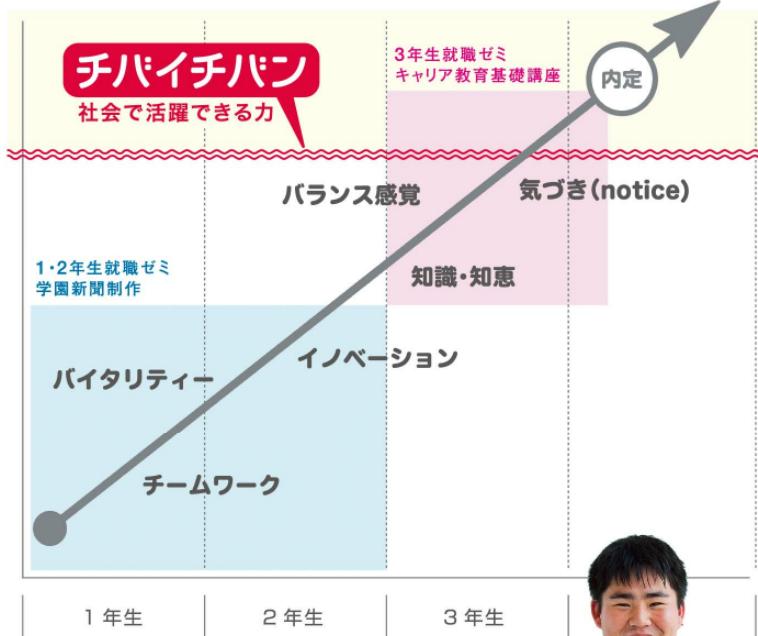
少人数教育を活かし、 学生の就職を全力で支援。

◎一人ひとりに合わせた就活指導

敬愛大学では、本学の特長となっている少人数教育を最大限に活かして、一人ひとりの学生と向きあつたきめ細かな就活指導を行っています。また、キャリアセンターを中心に、学内のさまざまな組織が有機的に連携し、教職員が一丸となって学生の就職をサポートしています。

◎自分で自分を評価する

学生が自分自身の目標を設定したうえで、伸ばしたい分野、伸ばしたい能力、伸ばしたい専門知識に応じて、自主的に科目を選択できるシステムを構築。さらに、個々の学生の目標・学習状況・評価状況が確認できる個別の“カルテ”を作り、教職員がいつでも誰でも指導できる体制を整えています。本人の自主性と、全学をあげての支援体制で、3年生の終わりまでには社会で通用する「チバイチバン」を身につけていきます。



1年生から就職のための学びがスタート。段階的に「チバイチバン」を身につけていき、3年生の終わりには、社会で活躍できる人間へと成長していきます。



キャリアセンターの方たちは、僕たちをいつも温かく迎え入れてくれます。だから、就職に関する質問だけでなく、学校行事や留学についてなど、いろいろ相談できる、とても頼もしい存在です。



いまの時代、学生の就職に関して厳しい状況にあることは否めません。しかし、どんな時でも、人間として魅力ある学生であれば企業は採用したがります。「企業が欲しがる人間」をいかにして育てるか、ここに敬愛大学のキャリア教育の特色があります。大切なのは「SKILL(スキル)」より「WILL(ウィル)」。自分で物事を考え、自らの力で前向きに生きていける、たくましい人間を育成します。そのために、本学の教職員はもちろんのこと、地元企業との連携を深め、産学が一体となった取り組みで、学生の就職を支援していく体制を整えています。

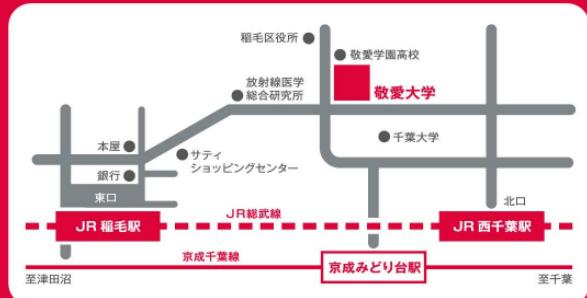
キャリアセンター長

高田 茂

厚生労働省指定キャリアコンサルタント
能力評価試験合格CDA



www.u-keiai.ac.jp



敬愛大学 キャリアセンター

〒263-8588 千葉市稻毛区穴川1-5-21
tel. 043-284-8333(直) fax.043-284-7343
e-mail career@u-keiai.ac.jp

JR稻毛駅下車（総武線快速・東京駅より約40分）
○東口より徒歩約13分
○バス約5分（稻31系統山王町行・敬愛学園下車）
京成みどり台駅下車
○徒歩約15分